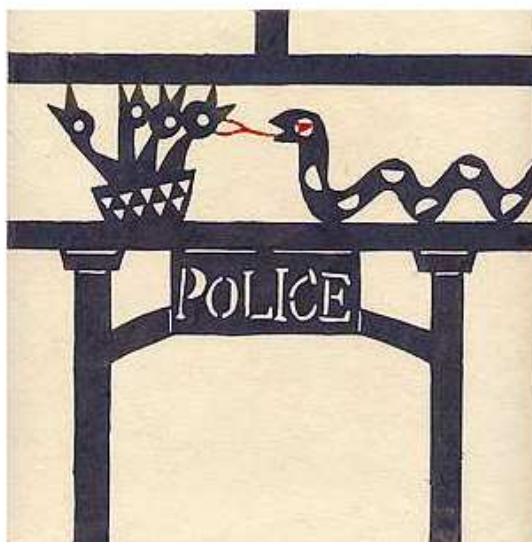


## 母燕

ある町の派出所の入口の上に今年も燕が巣を作りました。燕の親が餌をくわえて巣に戻ってきました。しかし巣の中にひなの姿はなく大きな蛇がどろろを巻いていた。

燕の母親はひどく悲しんで泣き叫びました。そこへこの泣き声を聞きつけた近くの燕がやってきて慰めました。 母燕は「有り難う奥さん しかし私の悔しいのは こんなこともあろうかと 最も信頼できる場所に巣を作ったの私たち弱いものとして当然でしょ それにこんなことになって」「ほんとねー 雀の奥さんもね 子供さんを朝 雀の学校に送っていったんだって その日帰ってきたのは 冷たくなった子供さんなの それに鳥さんところもね おばあさんが入院してね」



## 空を飛びたい亀

暑い夏のこと 鷺が水辺に下りて休んでいました。水の中にいた亀がやってきて「鷺さん 私にも空を飛ぶことを教えてくださいませんか いちどでいいからひろい空を飛んでみたいです」「亀さん それは無理ですよ 私たちは生まれつき空を飛ぶようになっているのですから。」と強く忠告しました。「そんなこと言わないで一度でいいから教えて下さいよ お願いしますよ」「それなら一度だけです よ 責任は持ちませんからね」というと鷺は亀をつかんで飛び立ちました。「亀さんこの辺で飛びますか 放しますよ」亀はまさかさまにおちて岩にぶち当たり、その身体は飛び散ってしまいました。



## 蛙の声

池のほとりで一匹の蛙が気持ちよく大きな声でなっていました。そこを獅子が通りかかりましたが、よほど大きい動物だと思って用心しながら声のする方をうかがいました。

蛙は獅子に気づかないでさらに大きい声で歌いつづけていました。「なんだ こんなに小さなものが大きい声を出しやがって」獅子の太い足は蛙の小さな身体と大きい声を潰していました。

